「平成 29 年度
東京地区会文化交流会・新会員感想
をお寄せいただきました！」

NHO　災害医療センター

久保　順一

東京地区会では、新採用者や他県から転入された方との親交を深める場として文化交流会を開催しており、今年度は平成 30 年 5 月 19 日（土）に開催されました。私は 11 年ぶりに東京地区に移動してきたので東京地区の文化交流会は初めてでしたが、見覚えのある多数の方々が参加していました。今回の文化交流会はサントリー天然水のビール工場で、「職人の思いを馳せる」という内容で製造工程を見学させていただき素材選びの重要性、仕込み工程・貯酒工程などのこだわりについて勉強させていただきました。その後、こだわって作られた新鮮なビールの試飲をさせていただきました。懇親会は塚田農場府中店にて開催され、普段なかなかお会いすることのない他施設の方々とのお話ができ大変有意義な一日を過ごすことができました。最後になりましたが、今回このような東京地区文化交流会・懇親会を企画・開催していただきました東京地区会役員の皆様に厚く御礼申し上げます。

NHO　災害医療センター

船山　友里

平成 30 年 5 月 19 日（土）に東京地区会文化交流会が開催されました。今回は、東京都府中市にあるサントリー天然水のビール工場の見学に行きました。ビールの製造過程を見学し、最後にビールを試飲しました。暑い日だったこともあり、皆さんとてもおいしそうにビールを飲んでいたのが印象的でした。そのあとに行われた懇親会では、自施設の先輩方にサポートして頂き、他施設の方と交流することができました。社会人 1 年目の私にとって先輩方のお話はとても貴重で、学ぶことがたくさんありました。今後もこのような会に参加し、他施設の皆さんとの交流できることを楽しみにしています。また、今回アドバイスして頂いたことや学んだことを仕事に生かし、成長した姿を見せられるようにしたいです。最後になりましたが、この会を主催、運営してくださいました東京地区会の久高会長及び理事の皆様に深く感謝申し上げます。

NHO　東京病院

宮原　秀和

私はこの春、東京病院に就職し病理検査と生理検査に配属されました。病理検査では主に包埋、薄切、染色を、生理検査では主に呼吸機能検査と心電図を担当しています。どちらの検査も正しい検査結果を出すためには技術や知識、経験が必要であり、日々勉強に励んでいます。

5 月に行われた文化交流会では初めてお会いする方々ばかりで緊張しましたが、とても良い雰囲気で会が進行し様々な方々と交流することが出来ました。特に同年代で今年から就職した方々とも何人かと知り合うことが出来、様々な情報交換が出来たことはとても有意義なものとなりました。これからお互いに切磋琢磨し合いながら一人前の検査技師になりたいと改めて感じることが出来ました。またこのような機会がありましたら是非参加したいと思いました。

NHO　東京病院

早川　真奈美

平成30年5月19日に国臨協関信支部東京地区会の文化交流会が、サントリー〈天然水のビール工場〉東京武蔵野ブルナリーで開催されました。

工場見学ツアーでは「職人の思いを馳せる」をテーマに製造工程を見学し、出来たてビールの試飲をしました。見学ではビールの仕込み釜を真近で見ることが出来たり、使用されているこだわりのアロマホップの香りを楽しむコーナーなどがあり、とても楽しめました。また自然食材を厳選していることや、環境保護に力を入れている事を知り、更にガイドさんをはじめスタッフの方の対応が気持ちよく、職員の向上心や職場の規律が感じられとても刺激を受けました。分野は違えども社会人として今後見習いたいと思いました。

見学後は塚田農場にて、鹿児島県の名産物や美味しいビールを頂きながら、新人紹介や役員紹介があり様々な施設でいろいろな経験をされてこられた先輩の話を聞くことが出来ました。役員の方々の計らいにより座席をくじ引きで決め、普段なかなかお会いする機会の少ない他の施設の方々とゆっくりお話をすることが出来ました。

検査業務の中で自分の知識を高める為の勉強法までもアドバイスを頂き、本当に貴重な体験となりました。また同期の中には、すでに目標を立て努力を始めてる技師の方もいらっしゃり、自分も臨床検査技師として向上心を持ち頑張らなければと改めて考える事が出来た一日でした。最後になりましたが、このような交流会を開催して頂いた役員の方々に感謝致します。ありがとうございました。

国立精神・神経医療研究センター病院

野上　凌

国立精神神経医療研究センター病院で常勤として検体検査の業務を現在行っています。

5 月 19 日の東京地区会の文化交流会に参加させていただき、自身の異なる病院の様々な年代の方や同期とお話しする機会を作ることができました。話の中で各病院のことや、臨床検査についてなど多くのお話をすることができ、検査についての視野が広がったことや、同期がどのような業務をしているか、何の勉強をしたいのかなど情報交換でき、いい刺激を得ることができました。

これからも交流会に積極的に参加し、ほかの病院の方と交流を広げることや、お互いを刺激し合えるような関係を築いて、切磋琢磨し日常の業務に取り組んでいきたいと思います。

国立精神・神経医療研究センター病院

飯塚　裕大

国立精神・神経医療研究センター病院の検体検査部門で非常勤として働いている飯塚裕大です。

先日のビール工場見学では普段飲むビールの製造工程を知ることができ、とても興味深い体験でした。特にプレミアムモルツに使用されていた麦芽はそれだけでも美味しく食べることができたことが印象的でした。

また、その後の懇親会では他の病院の技師の方々と交流することができ、このような席から横のつながりが出来ていくのだなと実感しました。転勤が多いこの業界なのでより良い関係を築くために今回のような交流会などには積極的に参加していきたいと思いました。

国立精神・神経医療研究センター病院

國光　奏江

平成 30 年 5 月 19 日(土)東京地区会文化交流会が開催されました。

サントリー東京武蔵野ブルワリー工場見学に参加させていただきました。工場見学ではビールの原料である麦芽の試食、仕込み設備の見学、ビールの試飲などをしました。試食させていただいた麦芽が思いのほかおいしくておつまみとしていただきたいくらいでした。

見学の後は場所を変え懇親会へと移りました。多くの会員の皆様が参加され、始めはとても緊張していましたが、他施設の方との交流を楽しむことができました。また、施設間のつながりの強さを実感でき、このようなつながりを持つことで技師として高めあうことができるのではないかと思いました。私にとって初めての交流会は充実した 1 日となりました。最後になりますが文化交流会・懇親会を運営していただいた東京地区会理事の方々に深く感謝申し上げます。

国立精神・神経医療研究センター病院

村上　夏美

平成 30 年 5 月 19 日(土)に東京地区会文化交流会にて、サントリー天然水のビール工場東京・武蔵野ブルワリーに見学に参加させていただきました。初めにビデオによる工場の説明があり職人のビール作りに対するこだわりを知ることができました。その後、実際に使用している麦芽やホップを見せていただきました。麦芽は試食もさせていただき、美味しくて驚きました。

ビール工場見学のあとは場所を移し、懇親会を行いました。席はくじ引きだったため、他の施設の方と話すことができました。今回の交流会で他施設の方の貴重なお話しを聞けるよい機会となりました。ここで聞けたお話を参考にして今後に活かしていきたいと思いました。

最後になりますが、今回このような交流の機会をいただき、企画・運営していただいた東京地区会理事の方々に厚く御礼申し上げます。

国立がん研究センター中央病院

谷津　陽和

国立がん研究センター中央病院　病理・臨床検査科　病理検査室に配属になりました谷津陽和（やつ　ひより）です。これから宜しくお願い致します。

文化交流会で行ったサントリーの天然水のビール工場では、徹底的に素材にこだわっていることや、ビールができるまでの各工程についても理解が深まり、試飲ではいつも以上においしく感じられました。ホップの匂いや、麦芽の味も知らなかったので今回の工場見学は本当に新しい発見ばかりでした。機械に頼るところは頼り、最後はスペシャリストの五感によって認められたものだけが商品として私たちの元に届く。素晴らしい製法だと感動しました。

また文化交流会がありましたら、参加したいと思っています。

国立がん研究センター中央病院

後藤　藍奈

国立がん研究センター中央病院　病理・臨床検査科　緊急・治験検査室に配属となりました。後藤藍奈（ごとう　らな）です。これからよろしくお願い致します。

東京地区会の文化交流会では、『サントリー天然水のビール工場東京・武蔵野ブルワリー』を見学させていただきました。工場見学のなかで、ビールを作るためには素材選びに力を入れているということで、ひとつずつ丁寧に作り上げているという気持ちが伝わりました。

ひとつの目標に向かって皆さんで努力し、研究し、良いものにしていくという気持ちは大切であるということを学び、とても良い経験になりました。

国立がん研究センター中央病院

田中　雪里

４月から国立がん研究センター中央病院　病理･臨床検査科　生理検査室で勤務しています。

出身校は桐蔭横浜大学です。中学、高校とバレーボール部に所属していてバレーボールが得意です。趣味は韓国語の勉強をすることです。

今回、文化交流会に参加させて頂きすごく有意義な時間を過ごすことができました。

ビール工場に行くのが初めてで、いつもでき上がったビールしか見ることが無かったので製造過程について学ぶことができて良かったです。

さらにその後の懇親会では普段なかなかお話することのできない方々とお話することで、アドバイスをして頂いたり、施設による違いについて知ることができ、とても勉強になりました。

国立がん研究センター中央病院

佐藤　美咲

４月から国立がん研究センター中央病院　病理・臨床検査科　生理検査室で働いています。出身大学は杏林大学で、研究室は病理でした。生理機能検査は得意なほうではなかったので日々勉強しています。趣味は小学５年生からしているバレーボールといろいろなたこ焼き屋さんに行って食べ比べをすることです。

先日の交流会では様々な病院の方々から仕事のお話を聞くことができ、とても良い経験になりました。早く一人前の検査技師になれるよう頑張ります。よろしくお願いいたします。

国立がん研究センター中央病院

飯田　伊織

国立がん研究センター中央病院　病理・臨床検査科　生化学検査室の非常勤、飯田伊織（いいだ　いおり）です。名前のせいでよく女の子に間違われますが残念なことに男です。中央病院では検査科卓球部の人として親しんで頂いています。さて、この度はとても楽しい交流会に参加させて頂きましてありがとうございました。ビール工場では自施設の先輩方と職場とはまた違った雰囲気でお話しすることができ、その後の懇親会での他施設の方々との交流は、実に新鮮で良い刺激になりました。私の今後の目標としてはNHOを受験し常勤職員となることですので、いつの日か皆さまの施設で働けるよう日々精進していこうと思います。今後もこのような機会があるたびに積極的に参加させて頂きますので是非よろしくお願いします。

国立がん研究センター中央病院

岩下　奈央

4 月から国立がん研究センター中央病院　病理・臨床検査科　輸血管理室に配属になりました岩下奈央（いわした　なお）と申します。

先日の文化交流会では普段見ることのできないビール工場の見学や、懇親会で日頃お話しできる機会の少ない他病院の方と交流することができ、大変貴重な経験になりました。私はビールをあまり飲まないのですが、展示の内容がとても興味深く面白かったです。今後もこのような行事に積極的に参加させていただきたいと思っています。今後ともよろしくお願い致します。

国立がん研究センター中央病院

宮島　香菜

４月から国立がん研究センター中央病院　病理・臨床検査科　生理検査室に配属になりました宮島香菜（みやじま　かな）です。患者様とのコミュニケーションを大切に、日々やりがいを感じながら業務を行っております。

今回ビール工場見学では醸造家のプライドやお客様に最高の商品を届けたいという熱い想いを感じました。私も患者様にとってベストな検査が出来るようプロの意識をもって業務に努めていかなくてはと改めて思いました。このような貴重な体験をさせていただき、また交流会を通じてたくさんの方とお話しさせていただいてとても嬉しく思います。